

## 講演会

# 「ケストナーとヒトラー

## ナチの時代を生きた作家の視点を読み解く」

～「エーミールと探偵たち」から「終戦日記一九四五」まで～

講師 畠中 美菜子さん（東北大学名誉教授）

日時 2025年11月14日（金）14時～16時  
（開場 13時30分）

会場 エル・パーク仙台スタジオホール（6F）  
（仙台市青葉区一番町4丁目11-1 TEL 022-268-8301）

参加費 500円

~~~~~

ナチスドイツの暗黒時代に、ヒトラーに抗った作家エーリヒ・ケストナー。

「エーミールと探偵たち」に代表されるような子どもたちの生き生きとした姿を描いた数々の児童文学作品の背景には、社会批判の視線があるのは明らかです。

2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻。そしてイスラエルのガザ攻撃。ケストナーが生きていたら、どんな言葉を残すだろう。この侵攻がいつか拡大して、私たちも当事者になるかもしれない。当時のケストナーの思いは、決して過去の事ではない。

日本でもヨーロッパでも右翼が台頭している今、作品を通して平和を考えます。



\*エーリヒ・ケストナー（1899-1974）\*

ドイツの詩人・小説家。ドレスデン生れ。1929年に発表した『エーミールと探偵たち』で児童文学作家として知られるようになる。ファシズムへの批判、自由主義的な作風によりナチスによって迫害を受け、1933年発表の『飛ぶ教室』を最後にドイツ国内での出版を禁じられ、著作の焚書処分を受ける。第二次世界大戦後は西ドイツのペンクラブ会長を長く務めた。1960年国際アンデルセン賞受賞。著書に『ふたりのロッテ』『わたしが子どもだったころ』『終戦日記』などがある。

主催 婦人民主クラブ宮城県支部協議会／連絡先（FAX）022-224-5444

〈託児がつきます〉

- 対象：6ヵ月以上小学1年生まで（しょうがいがあるお子さんや小学2年生以上のきょうだいがいる場合はご相談ください）
- 託児利用：お子さん1人あたり300円
- 託児申込締切：11月6日（木）先着順、定員になり次第締切
- 託児問合せ・申込先：エル・パーク仙台 管理事業課 事業係 TEL 022-268-8301